

令和6年11月

◆ほりもとちか 選 *滑稽俳句協会報八月号より

父の日やいつまで子どもと子に聞かれ 池田亮二

大人になりきれていない政治家が多すぎる。

国境のまだなきころの星月夜 東 麗子

国境は地上だけのこと。空に国境はなし。

父の日はこんなものかと屋台酒 鈴鹿洋子

私が子どもの時には父の日は無かった。要らん。

噴水の天に近づきたいの一心 八木 健

いくら頑張っても届かんのよね。

未完の句ならべて更ける春炬燵 八木 健

知らん間に寝てしまうよね。

頷いてするする啜る心太 八木 健

啜るのに一心で返事する間がないんだよなー。

秋風のギターがひとり歌ひだす 梶原美邦

こんな時あるある。

赤鉛筆が丸くれたがる休暇明け 梶原美邦

ガンバッター子に先生も大サービス。

指を切る紙が余寒の刃となれり 梶原美邦

句会報を作ってる時、私も人差し指と中指の間スーッと切ってしまいました。

バックテンものの見事に運動会 八木 健

五輪代表の体操女子、酒、タバコで辞退ですって。見付からんようにしたら

よかったのに。私は息子達に「カンニングするんやったら見付からんようにし
いや。見付かるようなカンニングはアカンデー」と言いきかせてた。

街騒を拒む網戸の穴だらけ

八木 健

外の音が聞こえるからいいかとも。うちの猫は外へ出たいと網戸を蹴破って
出ていかはりました。

はづれなり莢に豆なき枝豆は

八木 健

たまにある。店で売ってるのには無いが、近所の畑でもらったのに。

論客の居て結論の出ぬ夜長

八木 健

論客とは、私や私の句友のことかな。

人生双六東大官僚漫才師

池田亮二

東大出身の漫才師という意味なのか、官僚が漫才のようなふざけた仕事をし
ているという意味か。

猫が手を突っ込んでゐる金魚鉢

伊藤浩睦

猫の手は借りたいものの一つだけど、掴めるかな。

散歩の犬も二の足を踏む炎暑かな

稲葉純子

足を火傷するらしいから足袋を履かしてる。

どこもそこも外国人や炎天

大林和代

インバウンドの人達はルール守らんらしい。

猫好きの友から届くトマトかな

岡本やすし

私が送ったトマトのことかな。

幸せの満ちたるトマトかじりけり

岡本やすし

小玉のトマトでありまする。

蚯蚓出てすかさず浴びる猫パンチ

加藤潤子

うちの先代の猫、ゴキブリに追われて逃げてましたけど。

七月や誕生も傘寿も新札も

門屋 定

手にしはりました？ 新紙幣。私は息子からもらいましたが、なんかオモチャみたい。

二度見する隣の主婦のサングラス 小泉和子

アー、びっくりしたー。

炎昼やお釣受け取り品忘れ 鈴鹿洋子

よくあるある。私は中学時代に駅に鞆を忘れて電車に飛び乗ったことある。

労りて蚤取り合へる猫の朋 百目鬼強

ホンマ？ 見たん？

ひ孫泣く義母の葬儀の梅雨寒し 長井知則

長男の葬儀の間中、孫が二時間位ずーっと大声で「パパー」「パパー」と泣きながら叫び続けていました。いまだに耳に残っています。

ご飯ですよの声待ち遠し夕端居 日根野聖子

私の学生時代は、試験中でも夕食作りを手伝わされて、今でも母を恨んでる。

芯のない男がつつくかき氷 峰崎成規

ナルホド。かき氷の芯って？

キャンセルの訳は白靴無いだけよ 椋本望生

理由がたわいないことも。

広島忌鉦を一つかけ違ふ 村松道夫

アメリカと日本とどちらが。

握る手に汗なのに手に汗握るとは 八木 健

熱戦を夢中で応援している時は両方あり得る。

うな重と一年ぶりに再会す 八塚一青

不漁で高値なので仕方ないか。

好物のビール供えし盆供養 横山洋子

私も子どもの遺影にビールを供えてやってます。

虎が雨カンパネラ弾くフジコ逝く 和田のり子

稲畑汀子先生、黒田杏子先生が亡くなり、今年は鷹羽狩行先生、親友、句友もあの世へ行ってしまいあった。淋しくて淋しくて。